令和４年度あさご未来会議対話内容

○ テーマD：農林畜産業の担い手の育成と耕作放棄地の解消
○ 開 催 日：〔対面〕８月２７日（土）、〔オンライン〕９月７日（水）

＜凡例＞
・具体的に目指したい状態
・取り組みのアイデア
・私や私たちのアクション

農林畜産業の担い手の育成と耕作放棄地の解消

新規就農を応援
- 先輩農業者と対話する場
- 作り方を動画発信

新規就農しやすい環境づくり
- 農機具等のリサイクルシステムで担い手支援
- 農地の利用権設定の簡素化
- 農地売買の条件の緩和
- 農機具のレンタル
- 移住した新規就農者が農地を使いやすい

地域や都市部在住者の援農のしくみ（有料含む）
- 地域で地域の農家さんを応援する仕組み
- お手伝いの仕組みづくり（みんなで助け合い）
- 繁忙期に農業をお手伝いする仕組みづくり（携わる機会創出にもつなげる）
- 都市部在住者による援農の取組
- 草刈りの応援の仕組み（有料）
- 農業のプチ勤務制度

できることで応援
- 草刈りなどで応援
- サポートグループづくり
- 地域でマッチング支援

都市部との農業交流
- 観光体験プログラムと連携
- 農作物のオーナー制度

子どもから大人まで農業に親しむ場づくり
- 地域の交流事業と連携
- 小中高で農業の授業を実施
- 農業の楽しさを実感できる機会づくり
- 農業が気軽に学び、体験できる場づくり
- 若者が農業を体験できる機会をつくる

新規就農者の研修制度の充実
- 農業研修生制度の充実
- 外国人の農業研修生の受け入れ
- 若者農業者による対話の場づくり
- 大学生等に農林業体験、説明会の開催

変わる農林業のイメージ
- 農林業がかっこいいと思える
- 農業が子どもにとって憧れの仕事となる

多様な人が農業を身近に感じ、携わることができる
- 家族で農業することが当たり前の風景に
- 農業を身近に感じることができる
- 多様な人が農業に関わることができる
- 仕事をしながら農作業に従事できる
- 新たに農業に携わる人が増えやすい
- 兼業農家など農業に少しでも携わることができる
- 子どもの頃から農業に携わることができる
- 気軽に支え合える（手伝える）農林業

農業に触れる機会を地域でつくる
- 地域で農園を開設する
- 農業サークルを作る
- 地域で子どもたちが農業にふれる事業の実施
- 小中学校での農業の授業を地域で支援

農業女子の育成
- 女性の農業体験会の開催
- 女性が参加しやすい更衣室等の整備

新規就農者の増加
- 若い人が新規就農しやすい
- 農業を身近に感じることができる

変わる林業イメージ
- 林業を身近に感じることができる

子どもから大人まで山に親しむ場づくり
- 子どもが山で遊ぶ体験活動
- 植樹体験
- 山の教室、わんぱく教室で林業に触れる
- 里山の整備
- 緑の少年団の活動を活発化
- 小中高の授業で林業を体験
- 若者の林業体験の機会づくり
- 山で遊ぶツアーの開催

収益につながる林業
- 儲かる林業

高付加価値化
- 付加価値の高い農作物の生産
- ジビエ料理の常設店
- 農作物のブランド化

儲かる農業
- 農業は儲かるイメージになる
- 生活できる農業経営

農業経営の変革
- 農業の集約化、機械化による省力化
- 組合など組織で農地管理

耕作放棄地の活用
- 休耕田等を花づくり等で活用（観光地化）

林業者の育成
- 自伐林業家の育成
- 資格取得支援
- 農業×林業の生計スタイルの確立

林業への就職支援
- 就労情報の共有・発信
- 市内の林業企業を紹介

地産地消のしくみ
- 給食食材に地元野菜を使用
- 市内のカフェで食材を利用
- 地域での定期的なマルシェの開催
- 地元野菜での料理教室の開催で消費促進

販売ルートの確立
- 京阪神への販売ルートの確立
- 規格外農作物の販売ルートの確立

組織化による効率化と安定供給の仕組み
- 営農組合など地域で営農組織の組織化
- 農業研修生など小規模農家による共同経営会社の設立

花づくりで観光地化
- 地域で花の植栽
- 写真でまちおこし

スマート農業への転換
- ドローンの活用などスマート農業への転換

朝来市産材の活用
- 地元木材の利用促進
- 家庭用薪ストーブの普及促進

地域で花づくり
- 自治協で花づくり

林業就職情報の発信
- 林業の就職情報を発信

市外企業との連携
- カーボンニュートラルの利用で森林の付加価値化
- ワーケーションと連携

朝来産材の活用
- 地元木材の利用

森に触れる機会づくり
- 間伐の体験会の開催
- 広葉樹化

地産地消に向けた取組
- 朝来市産の農作物を購入
- 特産品を使った料理の発信
- 麦の生産
- 学校や企業との連携

都市部への流通支援
- サブスクの仕組みづくり
- 朝来市の農業者や農作物を発信

多様な農業スタイルを応援
- 収益を担う人と楽しみながら農業をする人との棲み分け
- 様々な農業のカタチを応援